



碧南ロータリークラブ週報

第2165回例会 平成15年2月26日(水) 晴. 最高13℃. 最低0℃

- 会長 長田 昌昇 ● 幹事 平岩統一郎 ● SAA 亀山 裕一
- 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 碧南市源氏神明町90番地
TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 会報委員 加藤知彦・竹下 豊・竹内光博・新美惣英



- 斉唱
ロータリーソング「ロータリー讃歌」
- 本日のメニュー
精進料理 とんがり帽子



会長挨拶

本日は、「アジアでインスタントラーメン戦争」という話を致します。

日本で生まれた即席ラーメンは、今やアジア諸国に浸透して各国のメーカーが激しい戦争を繰り広げているそうです。「アジアにおけるインスタントラーメン戦争」と題する記事が出ておりました。記事によると即席ラーメンは、韓国、台湾、中国、ベトナム、インドネシア、タイなどで大人気との事。特に中国では数百の国産メーカーやら台湾のメーカーがひしめき、この5年間で200以上の生産工場が設立されたそうです。即席ラーメンが日本で発明されたのは1958年だそうですが、アジアの国々に広がり始めたのは1970年代初めのことだそうです。その頃、日本の即席ラーメン市場は沈滞気味で、メーカーは2つの対応策を考え、1つは色々な風味の製品を出した事、もう1つは、肉や野菜、卵入りのカップ麺の開発。その結果、市場は4倍に拡大したとの事です。現在日本では年間53億食、一人当たり、年間41食のラーメンが食べられ、そのうち60%がカップ麺だそうです。しかし、アジアの国々で消費される即席ラーメンのうちカップ麺は1%程だそうです。しかし味の多様化は爆発的に進んでおり、ベトナムでは韓国風味が大人気で、ある国営メーカーでは韓国風シーフード味、チキン味、キムチ味など20種類以上の即席ラーメンを作る国営企業が3つ、外資との合弁企業が2つ、民間企業が驚くことに約40社あるそうです。

幹事報告

他クラブ例会変更（時間など詳細は各クラブにお問い合わせ下さい）
次週例会は創立記念日にあたり17時30分より衣浦グランドホテルにて行います。なお、理事役員の方は、16時45分より理事会を開催いたします。

委員会報告

〈出席奨励委員会〉

総会員数 78 名 (内出席免除者 15 名) 出席者62名	
出席対象者 49/63名	出席率 77.78%
欠席者16名(病欠者0名)	前々回修正出席率 100%

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

〈ニコボックス委員会〉

名誉会員碧南市長永島卓様より卓話のお礼をニコボックスに頂きました。

原田達八君 母の通夜および告別式に会葬頂きありがとうございます。

青木 稔君 林きみ歌集「いちじく」が程なく刊行を迎えます。改めてPRさせて頂きますのでよろしく願い致します。林さんの圧倒的な短歌に触れて、この頃自作は全くできません。

植松敏樹君 愛知県の入札監視委員会の委員として3期6年間大過なく勤めさせて頂きました。ありがとうございます。

長田銑司君 東京、大阪、名古屋の行事が続きます。今日はありがとうございました。

平岩辰之君 2月度RCゴルフ会で運に恵まれ繰上げにて優勝することができました。皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

角谷信二君 2月度RCゴルフ会で特別賞を頂きました。

早退6件 合計41,000円

卓 話

「21世紀の碧南市の発展に向けて」

名誉会員 碧南市長 永島 卓氏

本日はRCにお招きいただきましてありがとうございます。日頃は、市政各般におきまして皆さんにご理解ご協力を頂きましてありがとうございます。私もこのような立場になり7年弱になりますが、当初掲げました信念として「同じ目の高さで思いあえる福祉」ということで、同じ立場で人間同士が思いあえるような信頼関係のまちを形成していったらどうかということでありまして、それぞれのお立場の中でそれぞれの生き方があるのですが、最低限の共通の場というものをお互いが保有し合いながら、認め合いながら生活環境社会形成をしていったらどうかと思うのですが、最近「同じ目の高さで思いあえるまちづくり」と言ったり行政と言ったり産業振興と言ったりしております。

本日は、新年度予算が昨日上程されましたのでそれに基づいてお話をさせて頂きたいと思えます。時代の流れは国際化情報化が進んでおりまして日本の国だけの力では左右できないということは皆さんご承知だと思いますが、そのような流れの中で私たちの周りほどの様になるのか色々の方が言ってみえる訳ですが、以前のような時代環境とまるっきり変わってきておりスピードが急速に速まっており、その中で我々が住む、一碧南市をどのようにしていったらいいのかということですが政治的、経済的、社会的、環境的に色々な状況があります。皆様が仕事をなさっている程度は関心があると思いますが、市役所も同じでありまして下手をすると電車に乗り遅れてしまうような状況になりますから、できるだけ時代の流れをきちんと捉えて進んでいかなければなりません。しかし市には法律により色々な縛りがあり、また法律により支えられておりますのですが、その一方で法律も段々緩和されてきており住民の皆様方が自由に活動、活躍できるようなエリアが広がっているのも事実であります。一言では言えない社会情勢がありまして、非常にむずかしい時代に入ってきていると痛感しております。そういった観点の中で昨日市議会に新年度予算を上程しましたが、総額は529億円余りであります。対前年比6.9%の減額であります。一様にして近隣市町も減額予算の流れでございます。内訳を申しますと国民健康保険が48億円、老人保健が47億円公共下水道30億円介護保険23億で、介護保険は事業費が急速に伸びており3年後には30億円に達するのではないかと考えられます。被保険者の負担で賄うというのが国の鉄則でありまして需要が拡大すればするほど事業費が掛かるということです。そして水道事業費が10億円、市民病院が83億円です。一般会計は279億円です。対前年比16億円のマイナスです。周辺の実態を見ますと碧南市は非常に財源豊かなまちです。参考までに、平成13年度碧南市税一人当たり歳入が26万8千円余、歳出が40万6千円余であり、この金額は県下1位であります。臨海工業都市の企業からの収入のウェイトが非常に高く、昨年度の場合は内陸部を一時的に上回る税収が臨海部にありました。主要因は輸送機器関連工場と2号地における電源開発関係です。これは他所の地域にはございませんので碧南市は恵まれた風土、経済環境にあるといえます。臨海

部には約150社の企業が操業して見えます。それぞれが個性バランスの取れた企業活動をしており内陸部の社会基盤整備を支えて下さっているとんでも過言ではありません。平成14年単年度財政力指数を見ても全国675市平均1.0に対して1位が武蔵野市の1.80、2位が1.66の豊田市3位が成田市の1.62で4位が碧南の1.59です。ベスト50の中に愛知県は11市入っておりますがこの周辺に集中しております。自動車関連企業が集積している事によるものと思います。参考までに刈谷市7位東海市9位小牧市13位安城市14位大府市19位日進市24位岡崎市28位知多市29位西尾市36位となっております。その一方で、企業と同じような行政改革を進めており市役所中の経費の節減を進めております。バランスシートもとっており概要は、資産が1141億円（市民一人当たり168万円）負債が246億円(市民一人当たり36万円)正味資産が895億円（市民一人当たり132万円）であります。碧南市の財政状況は全国的にも優位な位置にあるといえます。

最近の話題と致しまして市町村合併に触れます。昨年9月に市長の立場として合併協議会設置につきましまして「より慎重に、消極的にならざるを得ない。」と市議会に申し上げまして、市議会も9月定例議会におきまして合併協議会採択を大多数で否決されました。市民アンケート、各層の意見を頂きながら私は判断したわけですがこの問題を放棄するわけではありません。現在は時期尚早ということで合併問題は今後継続的に研究していくと議会に表明しております。この決断は先程も申しました通り財政力も大きく影響しております。例を申し上げますと臨海工業群を抱えている飛島村のように町村で財政力が日本一で、行政サービスがあらゆる面で無料であり合併の必要性を感じないところもございます。財政力豊かな碧南市も時期を早めて結論を出す問題ではないと考えた次第です。また、4月1日より広域連合といたしまして消防署の関係が5市1つになります。通信指令を一本化して向上に努めます。廃棄物の関係では皆様方にご協力いただきまして、32種類の分別は全国で碧南市だけあります。ごみ処理の関係できれいになるまちということで視察が殺到しております。他方、海では2号地沖に衣浦ポートアイランドがあります。一般廃棄物と産業廃棄物を取り扱っておりますが産業廃棄物のウェイトが高まっております。国、県の造成によるものですから、碧南市は無理をお願いして入れさせてもらっておりますので、これからは防潮堤の南部77haの方を関係市町村で造成、環境事業センターの運営をしたいと申し出て、働きかけを進めているところであります。次に、3月19日に衣浦海底トンネルの4車線化が開通いたします。長年の懸案でしたが国、県合わせて450億円をかけて完成をみたものです。知多地域と三河地域の交流がますます高まるであろうが、今後は衣浦豊田線、衣浦岡崎線蒲郡線の道路アクセスをきちんと進めなければなりません。国会議員、県会議員と連携を取りながら進めてまいります。名浜道路もルート設定の決定と測量に入る段階まで来ております。新年度に少し調査費の予算がつきそうだというニュースが入っております。これはすごい事で、何百とある中で調査費はなかなかつきません。先の長い話ではありますが、常滑から蒲郡までの40キロを準高速道路として国の方に造っていただき地域の生活、産業に大きな役割を果たすと期待するところであります。それから、東海、東南海地震想定強化区域にこの地域が指定されました。色々な面で国の方から補助金も含めまして具体的な方策がおりてまいります。碧南市では昨年度一般民家の耐震調査を500件致しました。今年も100件予定しておりますが希望が多ければ追加の補正予算を組む予定です。さらに補強の費用をかけられる場合は一部ではありますがご支援をする手立ても新年度予算に入っております。

基本的に予算の面で表向きは縮小でございますが中身は変わっておりません。少しずつ歳入も減ってまいります。市民の皆さんの生活を守る為に色々な手立てを今後も行ってまいりたいと思っております。教育、福祉、行政の面、問題は山積しております。少しずつではあります。改善の努力をしてまいりたいと思っておりますので、ひとかたならぬお世話になります。よろしくお願いいたします。

次回例会案内／3月12日（水）卓話 「藤井達吉・その業績と作品」
愛知学泉短期大学講師 石川博章氏